

ふくしま地域材活用協

CLT実証現場の見学会

須賀川のデイサービス新築で

ふくしま地域材活用協議会
は11月29日、同協議会のCLT実証的建築支援事業を取り入れて施工中の、南東北春日デイサービス新築現場で見学会を開催した。医療法人社団・三成会が整備を進めているこのデイサービスは、須賀川市南上

躯体に使われているCLT



町地内の南東北リハビリテーション病院敷地内に建設するW造3階建て、延べ1277・25平方メートル規模の施設で、このうち躯体の68・7立方メートルにCLTが使用されている。設計・施工は荒牧建設。

建物各所に使用されているCLTパネルは、協議会員である藤寿産業が加工を担当。CLT実証は、①集

成材ラーメン構造の建物において、CLTパネルを床、壁、階段に使用した設計・施工②施設利用環境下でのCLTを含む床仕様の違いによる遮音性能の検証③柱脚金物に鋳造素材を用いて1種類の規格のみで納めることができる新規金物の使用④の3点について行っている。

見学会には約80人が参加。初めに須賀川市産業会館でCLT躯体構造や今回の実証事業に関する説明と、東京大学生産技術研究所の腰原幹雄教授による「地域の建築物に見る国産木材活用の可能性」をテーマとした講演が行われた。その後、現場に移動し、藤寿産業の担当者などから技術や構造について説明を受けながら見学した。